

建設技術展示館 第10期展示技術募集要領

(1)募集技術の分野

募集する技術は、河川・道路・港湾・空港・公園・営繕等の公共事業において、「安全・防災」、「環境」、「コスト縮減」、「IT」、「ユニバーサルデザイン」、「工事品質確保」に関する新技術・製品（以下、「技術」と表記）とします。

※分野名は、変更することもあります。又、申請分野を別分野に変更させて頂くこともあります。

(2)展示場所

千葉県松戸市五香西6-12-1

国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所構内 建設技術展示館

(3)展示期間

平成21年10月から、約2年間です。

なお、展示館管理者の都合により、展示物の移設等を求めることがあります。

(4)募集数

募集数は以下のとおりとし、屋内展示場・屋外展示場とも1展示者当たり1小間（2技術まで展示可）を基本としますが、2小間2技術も可能とします。

屋内展示場 : 約50小間

屋外展示場（平面区画） : 約 9小間

屋外展示場（法面区画） : 約 6小間

(5)展示スペース

展示スペースは、以下のとおりとします。

屋内展示場 : 1小間＝幅2.0m×奥行1.0m×高さ2.5m

屋外展示場（平面区画） : 1小間＝幅10.0m×奥行7.0m

屋外展示場（法面区画） : 1小間＝幅5.0m×奥行約4.5m×高さ2.0m（法長2～5m）

※小間サイズは、場所によって変わることがあります。

(1)応募は、屋内展示場・屋外展示場とも2技術までとし、技術毎の提出となります。

(2)屋内展示場・屋外展示場の双方に応募することも可能です。

(3)現在、建設技術展示館に展示されている技術での再応募も可能です。ただし、展示内容についてはレイアウトを変えるなど工夫をし、同じ内容にならないようにしてください。また、基本的に展示位置は変更になります。

(4)特許等知的所有権に関して係争中の技術は応募できません。また、展示中であっても係争が発生した場合、展示を中止する場合がありますのであらかじめご了承ください。

(5)共同開発した技術の場合、他権利者の同意・了承を得た上で応募してください。応募は複数の共同申請でも可能です。なお、他権利者の同意・了承を得ずに応募し、他権利者との係争等が発生した場合は、展示を中止する場合がありますのであらかじめご了承ください。

(6)選定された技術については、平成18年8月から新しく運用されている新技術情報提供システム（NETIS）に未登録の場合は申請をお願いします。

(7)応募技術については、施工実績は必須ではありません。実績がなくても応募できます。建設技術展示館では、完成して実績のある技術・製品だけではなく、今後、良質な社会資本整備に貢献できる技術も募集しています。

(8)展示期間中に展示者が展示物を管理できなくなる恐れが生じた場合、展示者（又は、管財人）の責任において展示ブースを撤去して頂くこともあります。

(9)申請に当たっては、展示手法等の検討のため、建設技術展示館を事前に見学することをお勧めします。

(1) 申請書の記載内容確認

記入漏れ等により審査し難い申請書については、期限付きで修正を求めることがあります。このような要請があった場合は、修正した申請書を指定期間内に「7. (8) 建設技術展示館展示申請書提出先及び問い合わせ先」あて送付して下さい。

(2) 展示者技術の選考

学識経験者、技術活用側等からなる審査委員会において、下記に示す評価項目の他、現場のニーズ、出展者としてふさわしいかを考慮して、応募技術毎に総合的に評価して展示技術を決めます。そのため、応募しても選定されない場合があります。

評価項目		審査のポイント
技術の有用性	①技術の評価	応募技術の有用性、市場性、拡張性、活用の効果はどうか
展示物としての分かりやすさ	②説明資料の評価	応募技術の役割や寄与、技術の説明がわかりやすいか
	③展示品の評価	パネル以外に実物、模型、ビデオ、音声ガイダンス、等の工夫は、されているか

審査の参考にするため、別紙「展示申請書記載要領」に記載している内容に留意して、できるだけわかりやすく記述してください。

(3) 結果の通知

選考結果は、平成21年7月下旬(予定)に書面で応募者に通知します。

選考の結果、展示することが決定した展示者は、国土交通省関東技術事務所長と展示品、展示期間、展示物の保持及び管理運営等について定めた「覚書」を締結し、建設技術展示館の全展示者で組織する管理運営委員会に加入していただきます。なお、共同申請での応募の場合は、代表出展者(会社等)と締結となります。

(1) 費用の負担

区分	屋内	屋外
1) 国土交通省が準備するもの	●基礎小間(パーテーション) ●スポットライト(100W, 5基) ●コンセントまでの1次電気工事 ●コンセント(1ヶ所)	●展示場所(基盤整備)
2) 展示者が出展時に負担するもの	●展示者の展示物の装飾・搬出入・設置・点検・管理・清掃に係わる費用 ●展示者分小間内の2次電気工事費、梱包材・展示物品・残材等の処分費 ●会場設備・備品及び他者展示物を破損した場合の弁償費	●展示者の展示物の装飾・搬出入・設置・点検・管理・清掃に係わる費用 ●梱包材・展示物品・残材等の処分費 ●会場設備・備品及び他者展示物を破損した場合の弁償費
3) 展示者が維持管理上負担するもの	展示期間中の展示品及び展示環境を良好に保持するために要する経費、来館者の傷害保険や賠償責任保険及び清掃等管理運営にかかる費用(負担額は選定後の管理運営委員会の議決により決定します。)	

	<p>参考：負担額は、以下の金額を想定しますが変動することもあります。</p> <p>屋内：1小間あたり約11万円／年間</p> <p>屋外(平面区画)：1小間あたり約14万円／年間</p> <p>屋外(法面区画)：1小間あたり約12万円／年間</p> <p>※ 2小間使用する場合は、2倍になります。</p> <p>※ 負担金の支払い方法は、別途連絡します。</p> <p>※ 共同申請の応募の場合、代表出展者へ請求します。</p>
4) 展示者が撤去時に負担するもの	<p>展示者の展示物の撤去に係る費用、梱包材・残材等の処分費、会場設備・備品及び他者展示物を破損した場合の弁償費、小間の原型普及に係る費用、撤去に係る清掃費</p> <p>※ 電力等の設備は、上記1)で示したコンセント、スポットライトのみとなります。それ以外の設備は設置できません。</p>

(2) 展示位置

展示位置は、展示内容(テーマ・分類等)を考慮して決定し、平成21年9月中旬迄に展示者に連絡します。なお、継続して展示する場合でも基本的に展示位置は、変更になります。

(3) 出展技術の発表会

展示者は、展示館で開催する発表会において展示技術の発表を行うことができます。

(4) その他

ここに記述されていない詳細な展示規定については、平成21年8月上旬に予定している「展示者説明会」でご案内します。

(1) 募集資料の公表	平成21年4月17日(金)
(2) 募集の受付開始	平成21年4月20日(月)
(3) 募集の締切	平成21年5月22日(金)
(4) 選考結果の通知	平成21年7月下旬(予定)
(5) 展示者説明会	平成21年8月上旬(予定)
(6) 展示物の設置期限	平成21年11月上旬(予定)
(7) 展示の開始	平成21年11月中旬(予定)

(1) 展示を希望される方は、建設技術展示館展示申請書に必要事項を記入し、郵送、宅配便又は電子メールで応募事務局へ送付してください。

1) 郵送又は宅配便で提出する場合

展示申請書様式1～5についてデータを入力した電子媒体(MO、FD、CDのうちいずれか)を提出してください。なお、提出するデータは下記(3)によるエクセルファイルとします。

また、一つの申請書で応募できるのは1技術となります。複数技術応募する場合はそれぞれ申請書を作成して提出してください。(提出する電子媒体は、1枚でも可能)

2) 電子メールで提出する場合

展示申請書様式1～5についてデータを入力したファイルを提出して下さい。送付するデータは、下記(3)によるエクセルファイルとし、**4MB以下の容量**として下さい。これを超える場合は、郵送又は宅配便で提出して下さい。なお、ファイルの分割(例：様式1～5を2つに分ける等)はしないで下さい。また、一つの申請書で応募できるのは、1技術となります。複数技術応募する場合はそれぞれ申請書を作成して提出して下さい。

(2) 申請書を提出された場合は、申請書受理の確認のため、お手数ですが応募事務局へ電話連絡をお願いします。(電話で受付番号を確認し、受理が完了となります。)

(3) 申請書の様式は建設技術展示館ホームページからダウンロードしてください。アドレスは「(8) 建設技術展示館展示申請書提出先及び問い合わせ先」をご覧ください。

- (4) 申請書の様式は(3)によりダウンロードした最新の様式を使用してください。以前に使用した古い申請様式は使用できませんので注意して下さい。
- (5) 申請書受付期間は、平成21年4月20日(月)から平成21年5月22日(金)までとします。
- (6) 応募の手数料は無料です。
- (7) 応募された資料は返却しません。
- (8) 建設技術展示館展示申請書提出先及び問い合わせ先

●建設技術展示館展示申請書の送付先

(郵送、宅配便の場合)

〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1

建設技術展示館 事務局 (国土交通省 関東技術事務所 構内)

※封筒には、朱書きで「H21展示申請書在中」と明記願います。

(電子メールの場合)

メールアドレス : tenzi-sinsei@aa.ktr.mlit.go.jp

※送付データ容量は、4MB迄

●問い合わせ先

建設技術展示館 事務局

TEL : 047-394-6471

FAX : 047-394-6477

●建設技術展示館ホームページアドレス

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/kengaku/techno-kan/index.htm>

【1. 目的と背景】

建設事業を取り巻く厳しい状況の下、環境保全や建設コストの縮減等の課題を解決する有効な方策として、有用な新技術を公共事業に積極的かつ円滑に導入することが重要となっています。

このため、国土交通省では平成10年度に「新技術活用促進システム」の運用を開始し、新技術の情報収集、成立性・適用性等にかかる活用評価及び新技術の事業への活用等を一貫して実施することにより、公共事業への有用な新技術の活用を促進してきました。

公共事業の現場において、有用な新技術を効率的・効果的でかつ適切に活用を推進するためには、技術を一堂に会し技術者が必要なとき、見て触れることで容易に理解を深め、各種新技術の理解と現場技術の改善方策などが思考できること、また、建設技術が市民の暮らしと都市機能を支えていることについて理解していただくため、関東技術事務所構内に常設の展示施設を開設しています。

【2. 建設技術展示館の概要】

1) 所在地・開館日

- ① 名 称：建設技術展示館
- ② 開 設 日：平成11年11月17日
- ③ 場 所：千葉県松戸市五香西6-12-1 国土交通省関東技術事務所構内 建設技術展示館
- ④ 開 館 日：平日 火、水、木曜日の週3日間

※上記以外の見学希望にも対応

- ⑤ 開館時間：（通常）10:00～16:30（冬季：12／1～2／末）10:00～16:00

- ⑥ 入 館 料：無料

- ⑦ 問い合わせ：建設技術展示館 事務局

TEL 047-394-6471 FAX 047-394-6477

2) 展示内容

建設技術展示館は、屋内展示場・車両展示場・屋外展示場より構成されています。

- ① 屋内展示場：新技術コーナー、歴史コーナー、国土交通省関東地方整備局の事業紹介コーナー、NETIS体験コーナー、災害対応、その他社会資本の整備に関するもの
- ② 車両展示場：実際に現場で活躍する災害対策用車両等の展示
- ③ 屋外展示場：新技術コーナー、バリアフリー体験、歩行者ITS体験、施工プロセスの紹介（樋門・共同溝）、舗装プロムナード（歩道・車道）、河川と自然の適切な調和（河川モデル）、その他社会資本の整備に関するもの

3) 現在の展示状況

展示技術数 129技術（102者）／屋内 112技術（89者）、屋外 17技術（14者）

【3. 建設技術展示館の活動】

本展示館に展示されている技術の活用・普及を目指し、以下の活動を展開しています。

1) ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/kengaku/techno-kan/index.htm>)

インターネットにより建設技術展示館の最新情報を発信しています。また、国土交通省、各地方整備局、関東地方整備局管内の事務所、千葉県・横浜市等の自治体、首都高速道路(株)、(社)日本土木工業協会等からリンクが設定されています。

2) 出展技術ガイドの発行

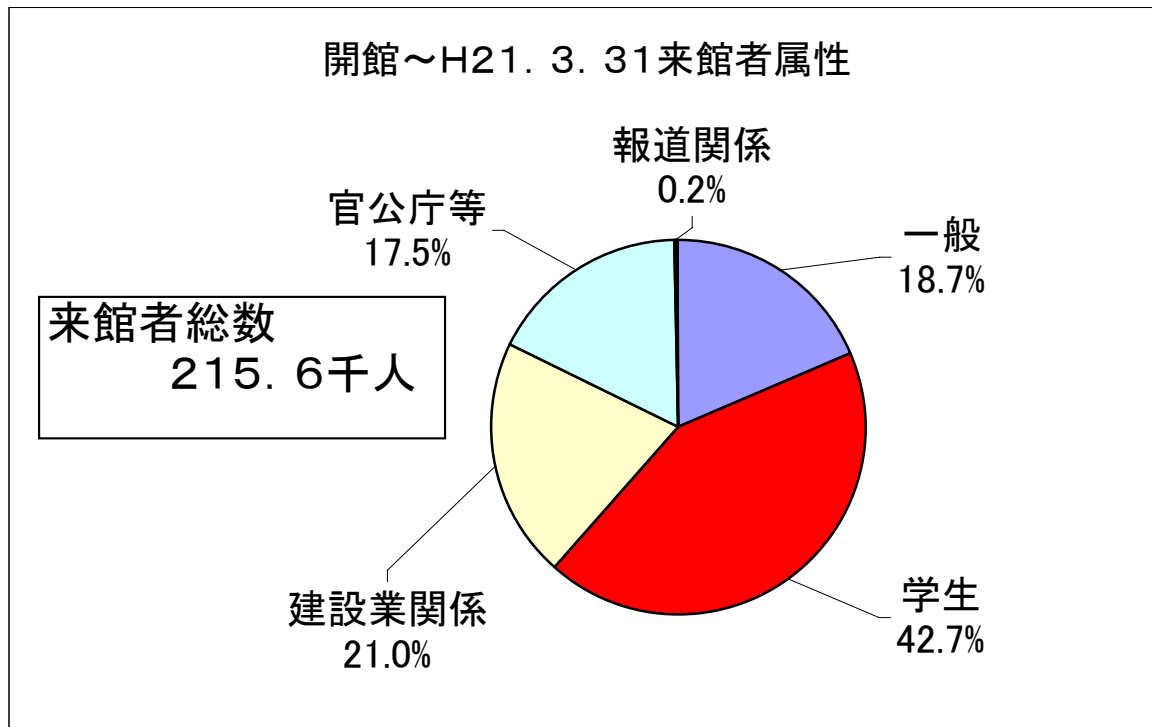
屋内・屋外に展示されている新技術の概要や活用状況を写真入りの冊子として来館者に配布しています。

3) 出展技術の発表会等

- ・ 展示技術の発表会は、技術者に展示技術の情報を紹介し、新技術の活用・普及の促進を図る目的で毎月1回開催しています。なお、発表会中には、技術者を対象に建設技術に関するタイムリーなテーマの特別講演も開催してます。
- ・ 本発表会等は、平成13年9月より土木学会の技術者継続教育制度の「継続教育(CPD)プログラム」、平成14年7月には(社)全国土木施工管理技士会連合会の「継続的専門能力啓発学習(土木施工管理/CPDS)」に認定されています。

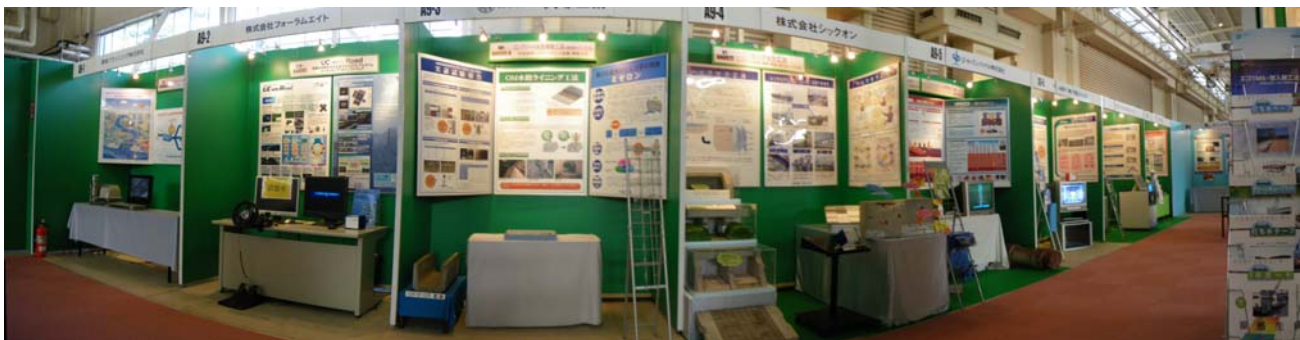
【4. 来館状況】

平成11年11月17日～平成21年3月31日までの来館者数は以下のとおりです。



(参考資料)

屋内展示場



屋外展示場

